

示説（ポスターセッション）に関して

1、示説の特徴

- ① 報告者と聞き手の距離が近く、気軽に質問しやすい。
- ② 少人数かつ時間の制約が遥かに緩いので、議論を発展させやすい。
- ③ セッション時間以外でもポスターを張り出しておけば、続けて見る事が出来る。
また、暇なときに報告者を見つけて説明してもらうことができる。

2、作成について

1 演題につき、模造紙（横 78,8 cm×104,4 cm）1～2 枚とします。

所定の範囲であれば、自由な形で使用とします。但したて向きの掲示となります。

説明しにくいものは実物を持参したり、展示もできます。

*模造紙に関しては各部署で準備をお願い致します。

3、作成のポイント

- ① 主張が明確である
- ② 簡潔に表現する（限られたスペース内におさめ、発表者がいなくても見ればわかる）
- ③ 図・表・写真など使用し視覚的にアピールする
（パワーポイントのスライドを活用してもよい）
- ④ 1 枚の上部に 10 cm に発表演題、院所・部署名・テーマ・氏名を記入
- ④ 字の大きさや色付けなどを工夫する
- ⑤ 縦向きに作成する

例)

10 cm くらいに演題名、テーマ、院所、
部署名、発表者、協同研究者氏名を記入
（発表者に○をつける）

内容についてのレイアウトは自由に行って
ください。

Header section (10 cm high)	